

甲南女子大学ふれあいの森づくり 特定非営利活動法人 あいな里山茅葺同人

団体の紹介

私たちは平成16年にあいな里山公園で開催された茅葺き講座の受講生が中心の団体で、公園の運営に市民参画団体として草地や樹林の管理に参加してきました。そこで培った知識・経験を活かし、地域の里山景観の保全を通じたネットワークの構築を目指して平成20年10月に特定非営利活動法人を設立しました。

活動目標は里山景観の保全と生物多様性の環境改善を図り、そこでは子どもたちが群れて遊び、心身の健全化に促進できる場づくりの具体化です。スタート時点は60歳以上が殆どの団体でしたが、地域交流親子教室イベントを重ねることで若いお父さんやお母さんの入会があって、16人の老若男女で楽しく取り組んでいます。



平成21年甲南女子大ふれあいの森づくり始動



地域交流キノコ栽培親子教室イベント

活動の経緯

私たちが平成21年からフィールドとしている甲南女子大学ふれあいの森は六甲山麓の閑静な住宅地に隣接し豊かな自然が残された約2.5haの里山林です。小学校や幼稚園が近隣にあり、子どもたちにとっては身近でアクセスのよいロケーションにあります。里山林を整備することで陽当たり、風通しを改善して生物多様性の復元および園路ならびに簡易施設を維持補修しています。また、大学の研究室や対外協力センターなどと共催で身近な自然環境にふれあえる地域交流イベントも運営しています。

活動の内容

甲南女子大学ふれあいの森は樹齢が50年以上のアベマキが主体の落葉樹林が傾斜地にあるため、山を一部削り安心して集えるウッドデッキの野外教室を大学生と共同作業で平成23年に完成しました。

私たちの林相整備の間伐や下草刈りによって、兵庫県の絶滅危惧植物のCランクに指定されているオケラの生育を確認しています、今後も下草刈りを継続することで、個体数が増えいくのではないかと期待しています。

大学生のイベント企画を具体化するための、キノコ栽培場やカブト虫ビオトープなどの整備も行っています。特に春と秋の地域交流イベントキノコ栽培



ウッドデッキでキノコ炊きさん試食会

培親子教室では、キノコの植え付けと 1.5 か月後の収穫・炊さん試食会と合わせて大学生が企画する里山あそび体験を開催しています。

これまでの里山あそび体験のメニューとして、女子大生ならではのユニークな落ち葉のファッションショー、拾い集めたドングリや落ち葉などを使った工作教室、ススキの秘密基地づくりでは子どものノコギリ初体験を見てお母さんの方が喜んでくれました。なかでも、私たちにとって嬉しかったことは転がりながらも何回も繰り返して落ち葉にまみれながら斜面をすべる子どもたちの元気な姿と、歓声が帰りの道すがらでも長く続いて聞こえていたことです。また、子どもやお父さん達には大阪湾が眺望できるツリーハウスアーはとても好評でありました。



大はしゃぎの落ち葉すべり



落ち葉のファッションショー



みんなで秘密基地づくり



ツリーハウスツアー

活動の展望

甲南女子大学ふれあいの森は落葉樹が樹齢を重ねて森全体の高齢・高木化が進んでいく中で、安全性と快適性を念頭においた林相の整備活動は生物多様性の保全促進を図るとともに、長い年月をかけて成長した間伐材はできるだけ木工などに活用したいです。ならびに身近な自然環境の中で地域のお母さんと子どもたちが遊びながら話し合える場となる、ふれあいの森づくりに継続して取り組みます。

また、大学生と連携を高めて落ち葉堆肥やキノコ栽培場などの充実を図り、循環型の森の恵みの普及促進を視野に森の空間利用を展開したいと思います。

特定非営利活動法人 あいな里山茅葺同人

〒651-1121 神戸市北区星和台 7-19-1

TEL(FAX) 078-594-1923

HP <http://www.kankyo.atnifty.com/~kayabuki/>

担当者 星島 明 (携帯電話) 080-3833-1923